学校番号	116

令和２年度　国語科

教科	国語	科目	現代文Ｂ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	精選現代文Ｂ（筑摩書房）						
副教材等	キーワード漢字 2700（浜島書店）、読解を深める現代文単語（桐原書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

２年の現代文では「読むこと」「書くこと」を中心に学びます。
特に、どのような構造でどのような内容が書かれているのかを理解して「読むこと」を中心に学びます。情報と情報の関係性（同じことを述べているか、反対のことを述べているか、何が原因でどういう結果になっているのか）を意識して読みましょう。
漢字や語彙の学習が不可欠です。漢字、現代文単語、文学史のテストでは毎回満点を取りましょう。
教科書脚注にまとめられている語は、国語辞書を使って意味を調べておきましょう。

2　学習の到達目標

・語彙、文学史などの知識を身につける
・多様な文章（または図表）を適切に読み取る力、また読み取った情報を統合し構造化して考える力を身につける
・思考の過程や結果について、相手が正確に理解できるよう根拠に基づいて書く力、話す力を身につける。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、その向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
評価方法	行動の観察 記述内容の確認 記述内容の分析	グループ活動の様子、発言内容 発表の仕方 記述内容の分析	記述内容の確認 記述内容の分析 小テスト 定期考査	発言内容 記述内容の確認 記述内容の分析 定期考査	発言内容 小テスト 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1学期中間	評論・新傾向問題	情報の彫刻(原研哉) 複数資料の読み取り			○	◎	○	c:「電子メディアと紙メディア」の対比について筆者の視点を抑えて説明することができる。 d:資料と資料の関係性を理解して読むことができる。 e:図表の読み取り方を理解している。	c:記述の確認、定期考査 d:記述の確認、定期考査 e:行動の観察
1学期期末	小説	山月記(中島敦)	○	◎		○		a:変身譚に興味・関心をもつ。 b:登場人物の言動の意味を的確に読み取り、話し合いを通して理解を深めている。 d:「人虎伝」との比較を通して、変身の理由がそれぞれどのように描かれているか読み取る。	a:行動の観察 b:行動の観察、記述の確認 d:記述の確認、定期考査
2学期中間	評論・小説	物語るという欲望(内田樹) こころ(夏目漱石)			◎	○	○	c:「解釈の発動と『物語』の発動」との関係を説明することができる。 d:「こころ」という小説の設定について理解し、「私」の心情を読み取ることができる。 e:日本近代文学史について理解している。	c: 行動の観察、記述内容の確認 発表 d:記述内容の確認、定期考査 e:定期考査
2学期期末	小説・評論	こころ(夏目漱石) 科学・技術と生活空間(村上陽一郎)		○	○	◎		b:「K」の行動の理由について意見交換し、考えを深めている。 c:「私」の心情の推移について説明することができる。 d:「近代社会」「資本主義」とはどういうことか理解している。	b:行動の観察、記述内容の確認 cd:記述内容の確認、定期考査
学年末	評論・小説	言語が見せる世界(野矢茂樹)I was born(吉野弘) 「である」ことと「する」こと			◎	◎	○	c:「概念理解と物語理解について」、具体例を挙げながら説明できる。 d:「僕」「父」の言動の理由について心情を踏まえて説明できる。 e:「する」価値と「である」価値について理解する。	c:記述内容の確認、定期考査 d:行動の観察、定期考査 e:行動の観察、定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力
c:書く能力　d:読む能力　e:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。